

新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 2019 年度第 2 学期活動報告

<英語>

本稿では、2019 年度第 2 学期の英語学習支援活動への参加者数、ならびに「英語チャット」参加者（主に日本人学生）および英語チューター（主に世界各地からの留学生）を対象とするアンケート調査の結果を報告する。専任の英語学習アドバイザーが 9 月末で退職されたため、これまで昼休みに週 5 回実施していた「英語アドバイジング&チュートリアル」を「英語学習相談」と改称し、人文学部の英語担当教員 2 名が週 1 回ずつ担当することになった。年明けからは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が徐々に進み、FL-SALC の諸活動も 2 月以降は全面的に中止となった。

I. 活動参加者数

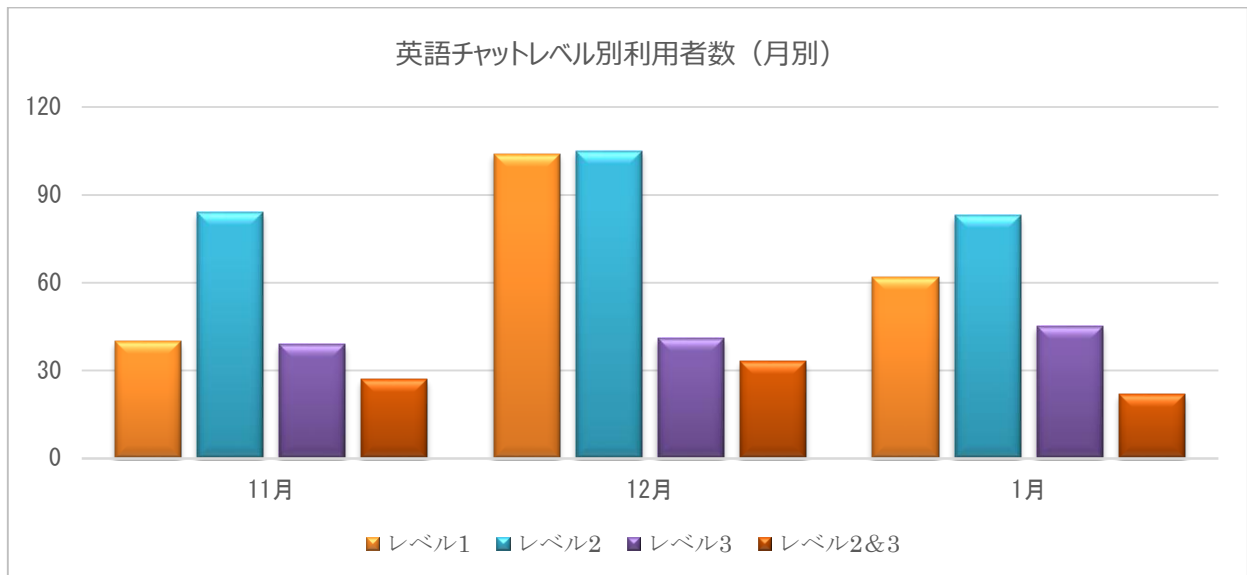
総数（延べ人数）：855

※授業期間中の活動：英語チャット 685、英語学習相談 30、

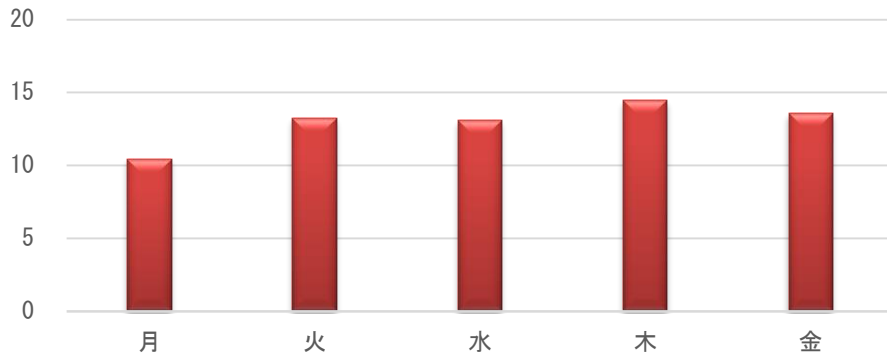
Study Groups 133、アカデミック・ライティング・センター 7

1. 授業期間中の活動（10月8日（火）～1月31日（金））

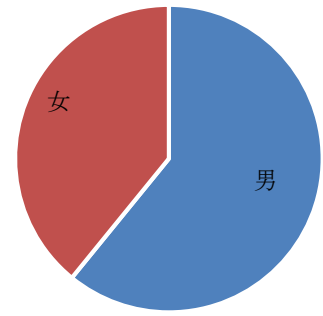
●英語チャット（2階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）



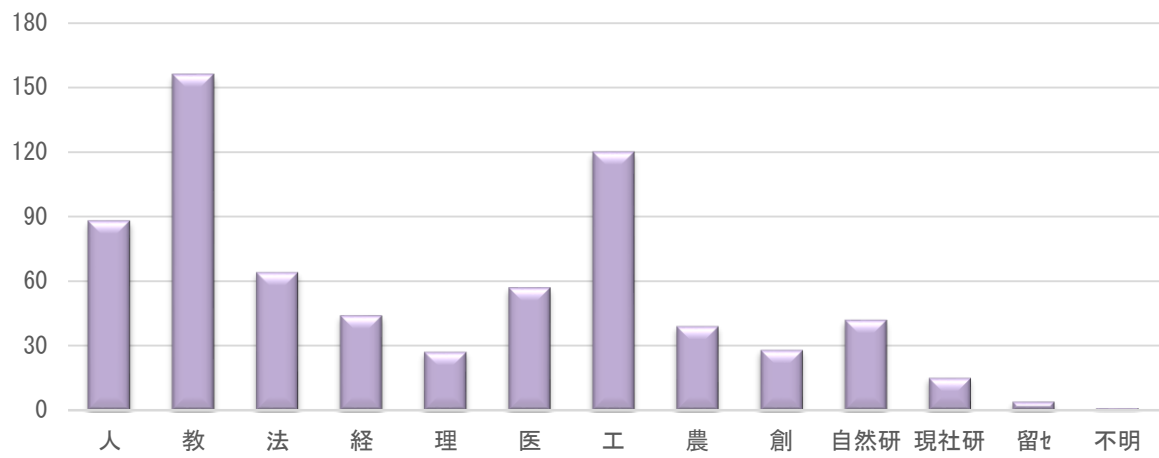
英語チャット曜日別参加者数 (平均)



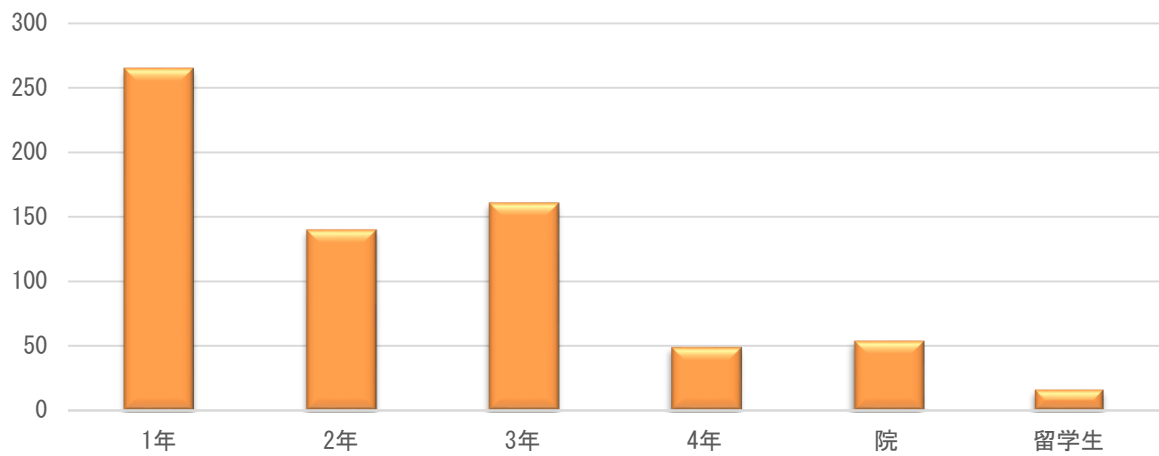
英語チャット (性別)

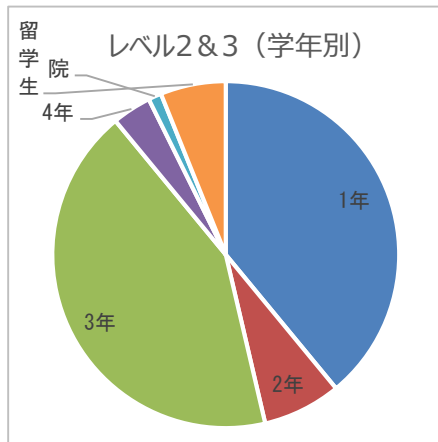
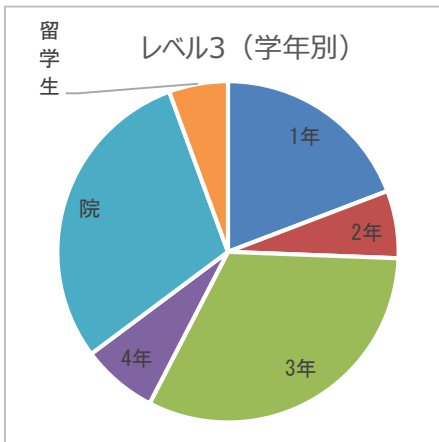
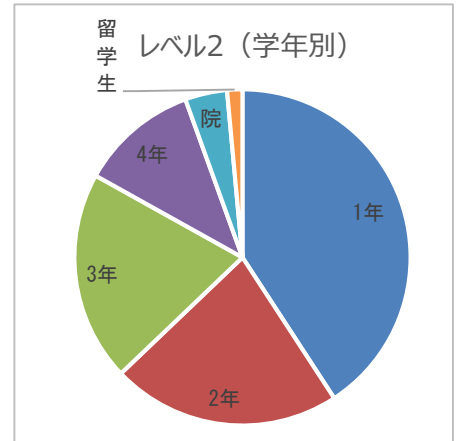
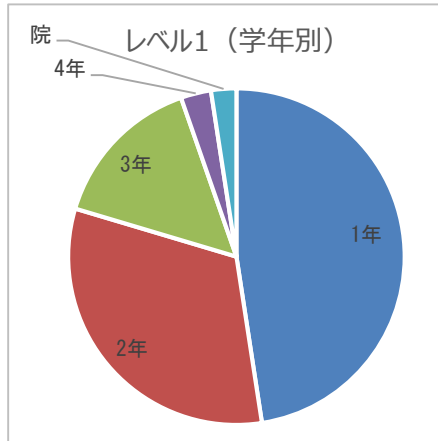
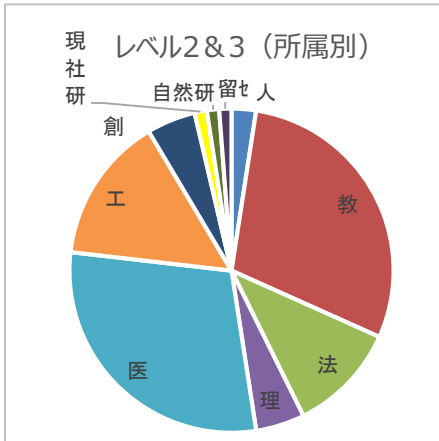
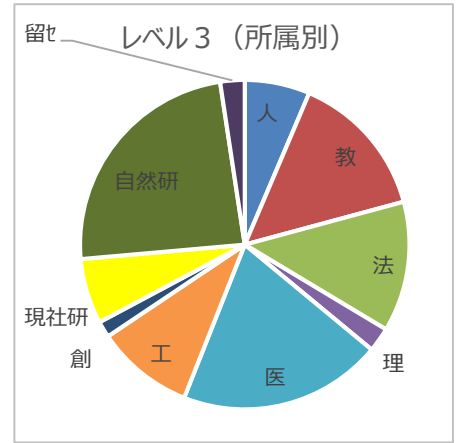
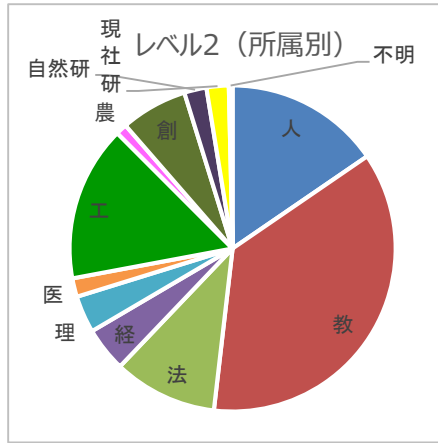
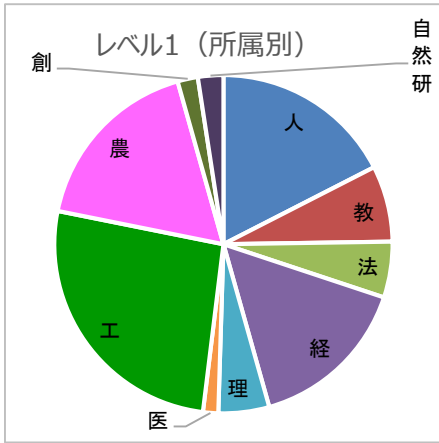


英語チャット (所属別)



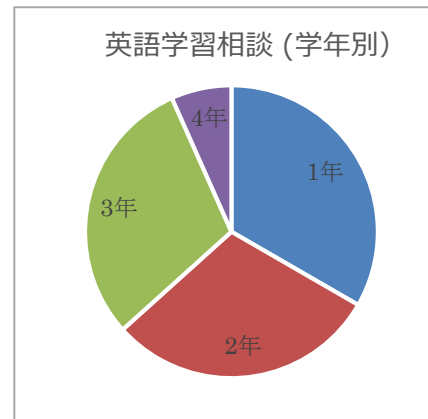
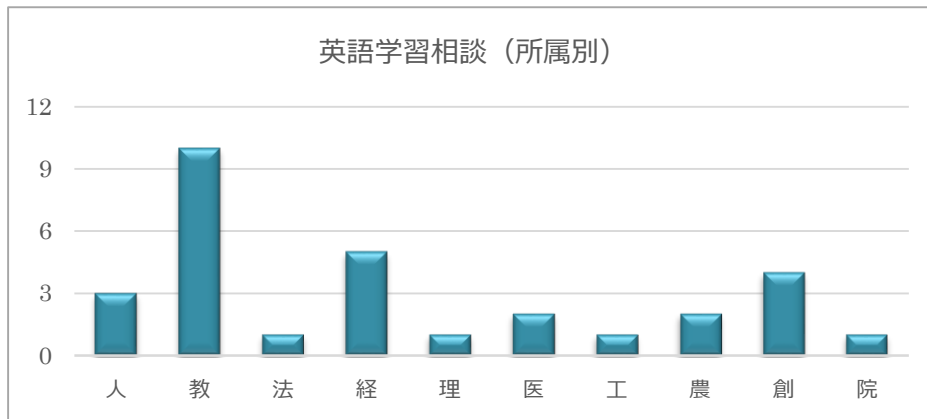
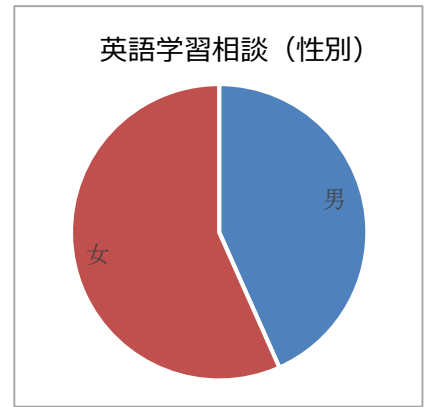
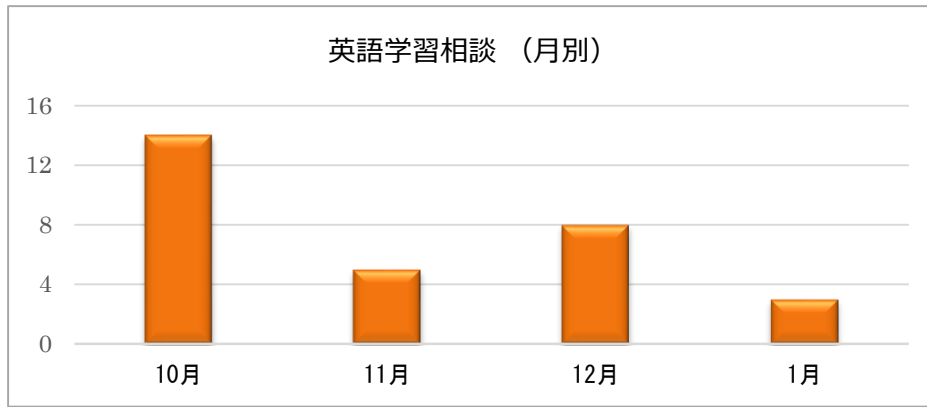
英語チャット (学年別)





- 英語チャットを英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員は介入せずに学生同士の自主性に任せている。ただし、ビギナーズ英語チャットでは、話のきっかけとなるようワークシートやゲーム等を用意した。
- 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして17名雇用した。内訳は、マレーシア2名、ロシア1名、タイ2名、ジンバブエ1名、モンゴル1名、オーストラリア2名、フランス2名、ドイツ1名、アメリカ2名、中国2名、トルコ1名であった。
- 今後の課題：
 - ・ 遠隔での実施について検討する。

●英語学習相談（FL-SALC 内にて実施）



- 「英語学習アドバイジング&チュートリアル」を「英語学習相談」に改称して、人文学部の英語担当教員2名が週1回ずつ担当した。

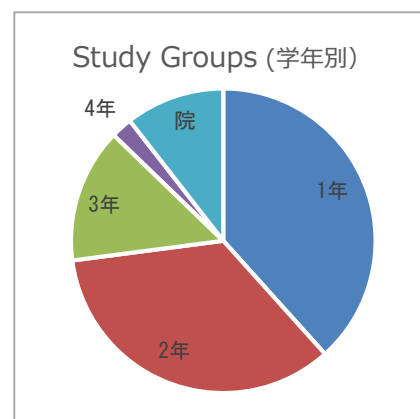
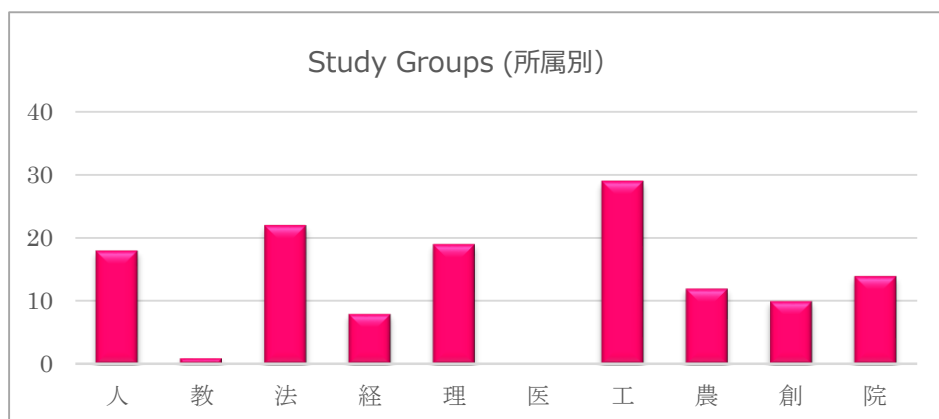
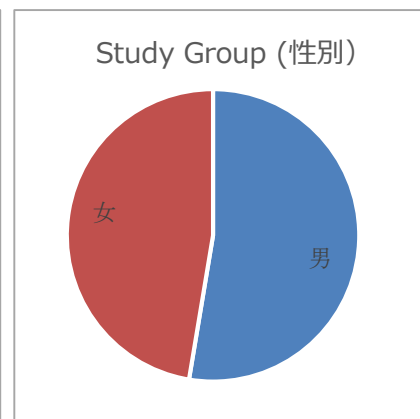
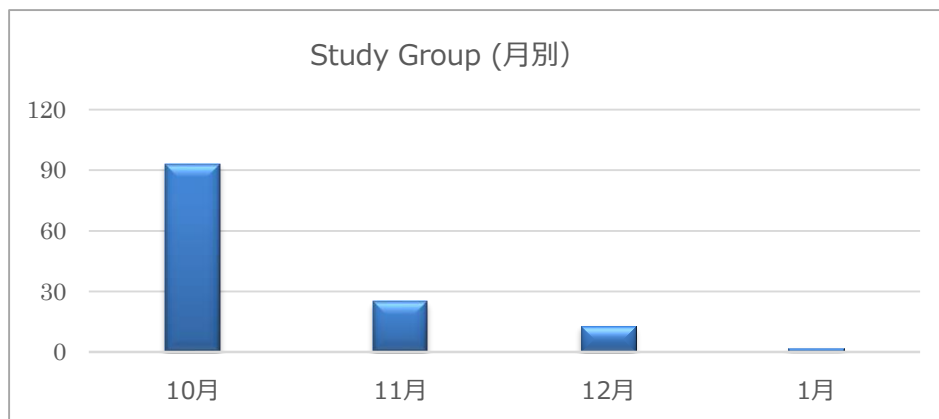
第2学期の主な相談・指導内容

● 相談項目	10月	11月	12月	1月
1.TOEIC 対策	12%	38%	56%	100%
2.TOEFL/IELTS 対策	18%	0%	11%	0%
3.その他英語資格に関する質問（英検など）	6%	13%	0%	0%
4.留学関連：留学先、留学のための学習相談等	6%	0%	11%	0%
5.スピーキングスキルに関する相談	24%	25%	0%	0%
6.リスニング/リーディングスキルに関する相談	18%	25%	0%	0%
7.ライティングスキルに関する相談	0%	0%	0%	0%
8.目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	0%	0%	11%	0%
9.その他	18%	0%	11%	0%
計	100%	100%	100%	100%

➤ 今後の課題

- 英語学習アドバイザーの退職により実施回数は減少したものの、英語学習に関してどのようなことでも質問や相談ができる場を、今後も継続的に提供することが重要であると思われる。

●登録制 Study Groups (3階グループ学習室又は2階プレゼン・エリアにて実施)



➤ テーマ別に小グループでの学習の機会を提供した。

➤ 第2学期 Study Group

＜第3ターム完結型＞

- ・ 火曜 12:55-14:25 「基礎英文法（動詞編）」(担当：教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美)
- ・ 水曜 12:00-12:30 「やりなおしリスニング」(担当：教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美)

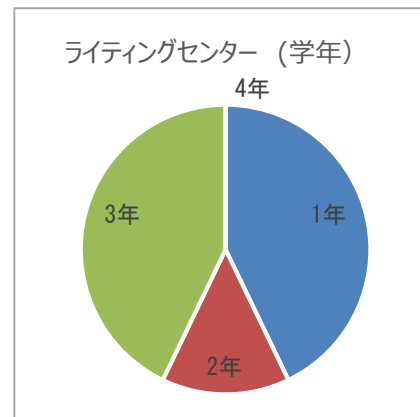
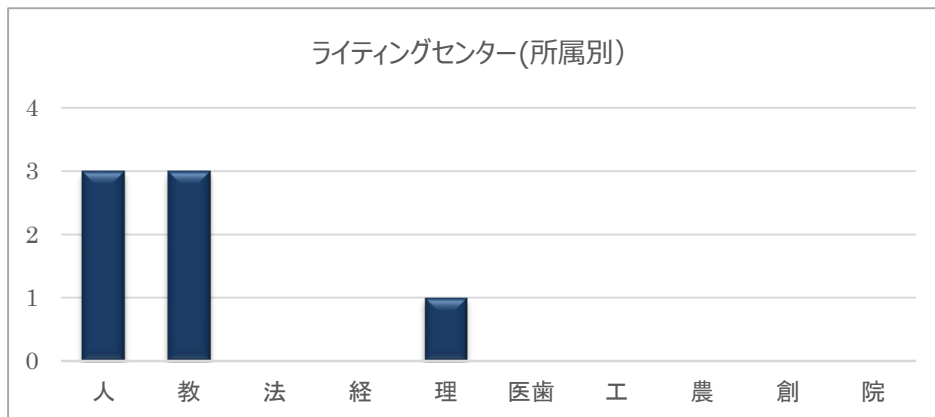
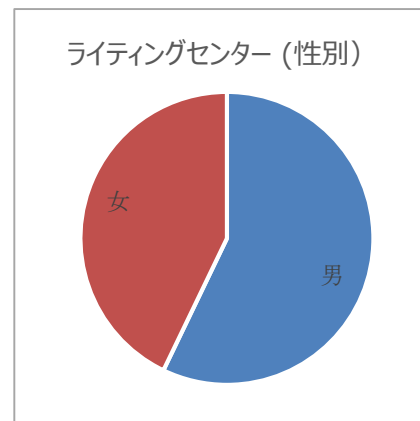
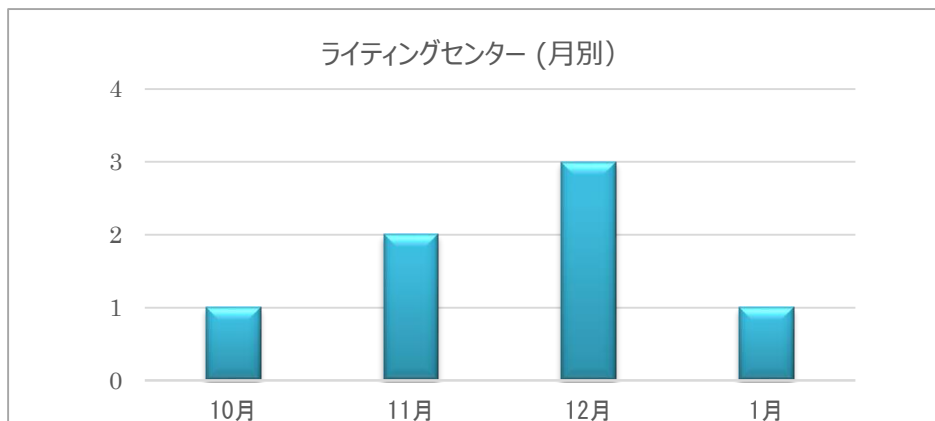
＜第3・第4ターム＞

- ・ 金曜 12:00-12:45 「目指せ基本英単語集中マスター」(担当：人文社会科学系准教授 平野幸彦)

➤ 今後の課題：

- ・ 昨年度は第3タームには参加できても第4タームには参加できなくなった学生が相当数いたため、火曜「基礎英文法（動詞編）」と水曜「やりなおしリスニング」は第3タームだけの集中型で行った。その結果、短期間で集中的に取り組めた一方で、時間的に割愛せざるを得なかった学習項目もあった。
- ・ 英語学習アドバイザーの退職にともない、提供できる Study Group 数が減少した。

●アカデミック・ライティング・センター（2階 FL-SALC 内にて実施）



毎週水曜 12:00-12:45 にライティング指導を実施した。(担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

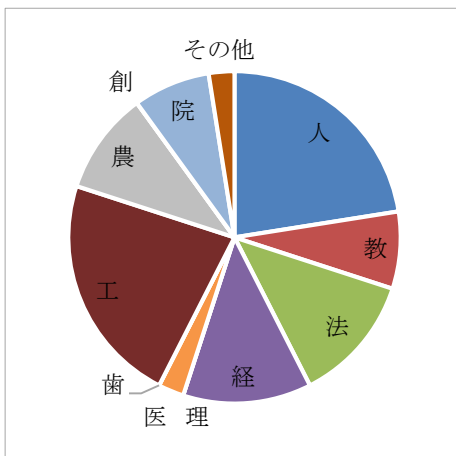
2. 授業期間後の活動

なし（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため）

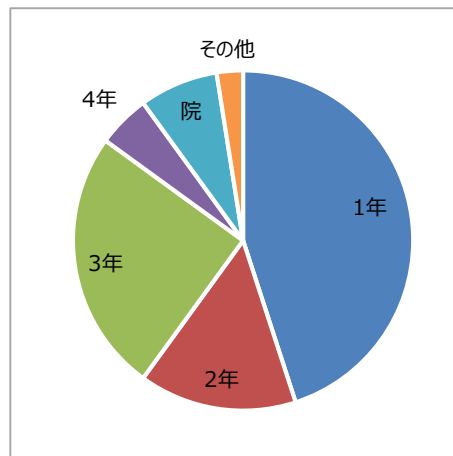
II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2020年1月実施、自由記述部分は原文のまま)

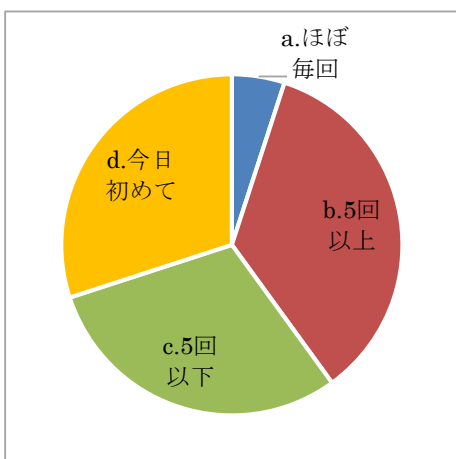
1. 所属



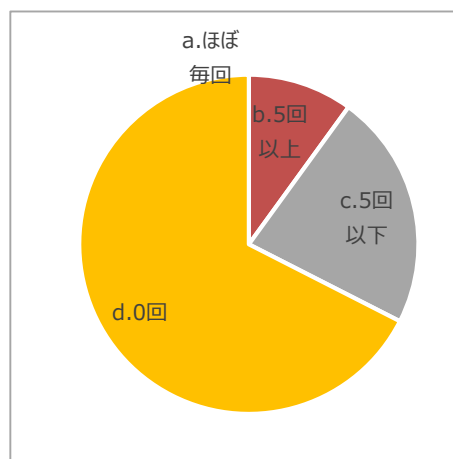
2. 学年



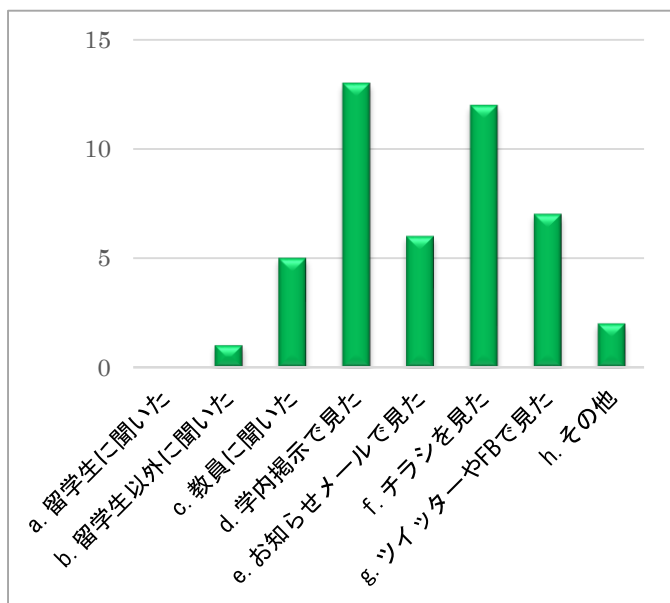
3. 今学期の英語チャット参加回数



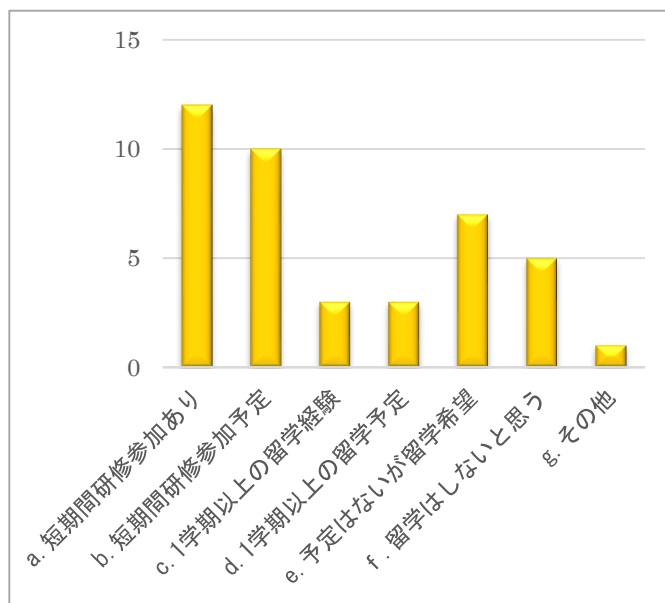
4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



5. 英語チャットを何で知りましたか？※複数回答



6. 留学をしたことはありますか？※複数回答



7. 英語チャットに参加した動機は何ですか

<英語力強化>

- ・ 英語力の向上 (3件)
- ・ 英語上達のため (2件)
- ・ 英語能力を高めたい (3件)
- ・ 英語力を上げたい
- ・ 英語力の改善
- ・ 純粋に英語力を伸ばしたい
- ・ 英語学習のため
- ・ 英語が話せるようになりたいから (4件)
- ・ 英語でコミュニケーションをとれるようになりたかったから (2件)
- ・ 自分の英語のリスニングやスピーキング能力を上げるため
- ・ スピーキングやリスニングが苦手だから。
- ・ 英会話のスキルを向上させたいから
- ・ 主にスピーキングの英語技能を向上させるため
- ・ **practice spoken English**
- ・ 話す力をつけたかったから

<英語を話す機会>

- ・ いろんな人と話したかったから
- ・ 生の英語に触れたい
- ・ 英語を定期的に話したくなかったから
- ・ 英語を流暢に話したいと思ったから
- ・ 英語をもっと話したい、英語を聞きたい、そもそも会話がしたい (話下手なため)
- ・ 話すことに慣れるため

<留学準備として>

- ・ 海外研修の事前学習 (2件)
- ・ 参加予定の留学プログラムで義務だった
- ・ IELTS の試験をうけるため
- ・ 春休み中にフランスに行くことが決まって英語を少しでも上達させたいと思ったから
- ・ 留学に行くために英語で話す練習がしたかったから
- ・ オックスフォード大学英語研修に参加するため。英語で話す機会になれようと思ったから
- ・ 春に留学する予定なので、英語に慣れておきたいと思ったから
- ・ 留学に必要なだから
- ・ 来年度留学するため

<その他>

- ・ 楽しい (2件)
- ・ 友達に誘われたから

8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

<英語力強化・英語を話す機会>

- ・ listening and speaking (3件)
- ・ リスニングとスピーキング力の向上 (3件)
- ・ リスニングとスピーキング力が身についた
- ・ speaking と listening が得意ではないので、役に立ちました
- ・ 新しい単語や聞きとり能力が身についた
- ・ 少し英語が聞き取れるようになった
- ・ ネイティブの英語を聞けること
- ・ リスニング
- ・ 話す力がつく
- ・ スピーキングが主
- ・ speaking の役に立つ (2件)
- ・ 日常会話やよくつかうフレーズの学習に役立った
- ・ 話す練習になった (2件)
- ・ 話すレベルを高める
- ・ 実際に話してみることで実践的だった
- ・ 積極的に話す姿勢が大事
- ・ 英語を話す機会になった
- ・ 英会話の機会が増え、話すと聞くを伸ばせる
- ・ 即席で英語を話さなくてはならない環境はとても役に立ちます
- ・ 英語のスピーキングを他に練習できる場がないのでとても助かる
- ・ 授業で日常会話の練習ができないので英語で会話をする上で役にたった
- ・ 日常的なことを英語で説明したり、自分の学んでいることを英語で説明することに役立った
- ・ 英語の単語がすぐに出てこなくても簡単な言葉でだったら会話できるようになったと思う
- ・ 積極的に話すこと
- ・ 返答を早くする
- ・ 話すことに抵抗がなくなる
- ・ 使う機会を持てること
- ・ 継続して行くと喋りがよりスムーズになると感じる (が、続かないし・・・)

<その他>

- ・ 楽しい
- ・ 自分の話せなさに気づけたので、もっと英語を勉強しようと思った
- ・ 自分の英語がまだまだだということを身をもって感じれた
- ・ 英語に慣れる

9. 英語チャットは異文化理解の点から具体的に役立ちましたか？

- ・ 海外の人がどんな生活なのか聞ける
- ・ 知らない国の話をきけた
- ・ 様々な国の留学生と話すことができてよかった

- ・ 外国人と英語で話すことで、相手の出身国がどのようなところなのかを知ることができた
- ・ 留学生の母国の文化の話が聞けたので役立った
- ・ ジンバブエの話などを聞いた
- ・ 結構多言語、多文化の話にトピックが移りそれぞれの国を紹介するので面白いです
- ・ 留学生と気軽に話せるようになった
- ・ 様々な文化について知ることができた
- ・ 日本の外国人にとっての住みやすさを知ることができた
- ・ 色々な文化・国のことを知れた
- ・ 留学生のみならず、同じ新潟大の人達とも交流して様々な文化を知ることができた
- ・ 留学生の出身国の背景を知ることができ、その国のことを学ぶことができた
- ・ 異文化を学ぶ
- ・ 多国の文化や慣習を学べた
- ・ いろんな国の人の話をきけた
- ・ 外国の文化や風習について生の声を聞くことができた
- ・ オーストラリアについて知れた
- ・ 様々な文化を知れて良かった
- ・ 多くの国の人と話すことができる点
- ・ 日本で通じることが通じないことを感じました
- ・ 多文化に触れられる
- ・ 英語を勉強することで英語圏の考え方がある程度分かると思う
- ・ 相手の国の風習（現状）を知る
- ・ 留学生との交流
- ・ リアルな話が聞ける
- ・ 様々な国のことを知れる
- ・ 外国の文化が少し分かった
- ・ まだわからない

10. 英語チャットに参加して困ったことは？

- ・ すぐに言葉出てこなくて焦った。
- ・ 日常的な挨拶文句がパッと出なくて申し訳ない
- ・ 単語がでてこないとき
- ・ 自分の語彙力
- ・ 文法力と単語力がない
- ・ 聞き取りが難しいときがあった
- ・ まだ聞き取りづらい
- ・ ききとれずききかえしてしまい、相手に迷惑をかけてしまうなど
- ・ 思ったことをそのまま英語で伝えられず難しいと感じた
- ・ 自分の英語力は乏しいことを痛感した
- ・ 自分の話したいことが英語で思いつかない
- ・ 自分から話題を出せなくて他の人に任せてしまうことが多かったから自分から話せるようにしたい

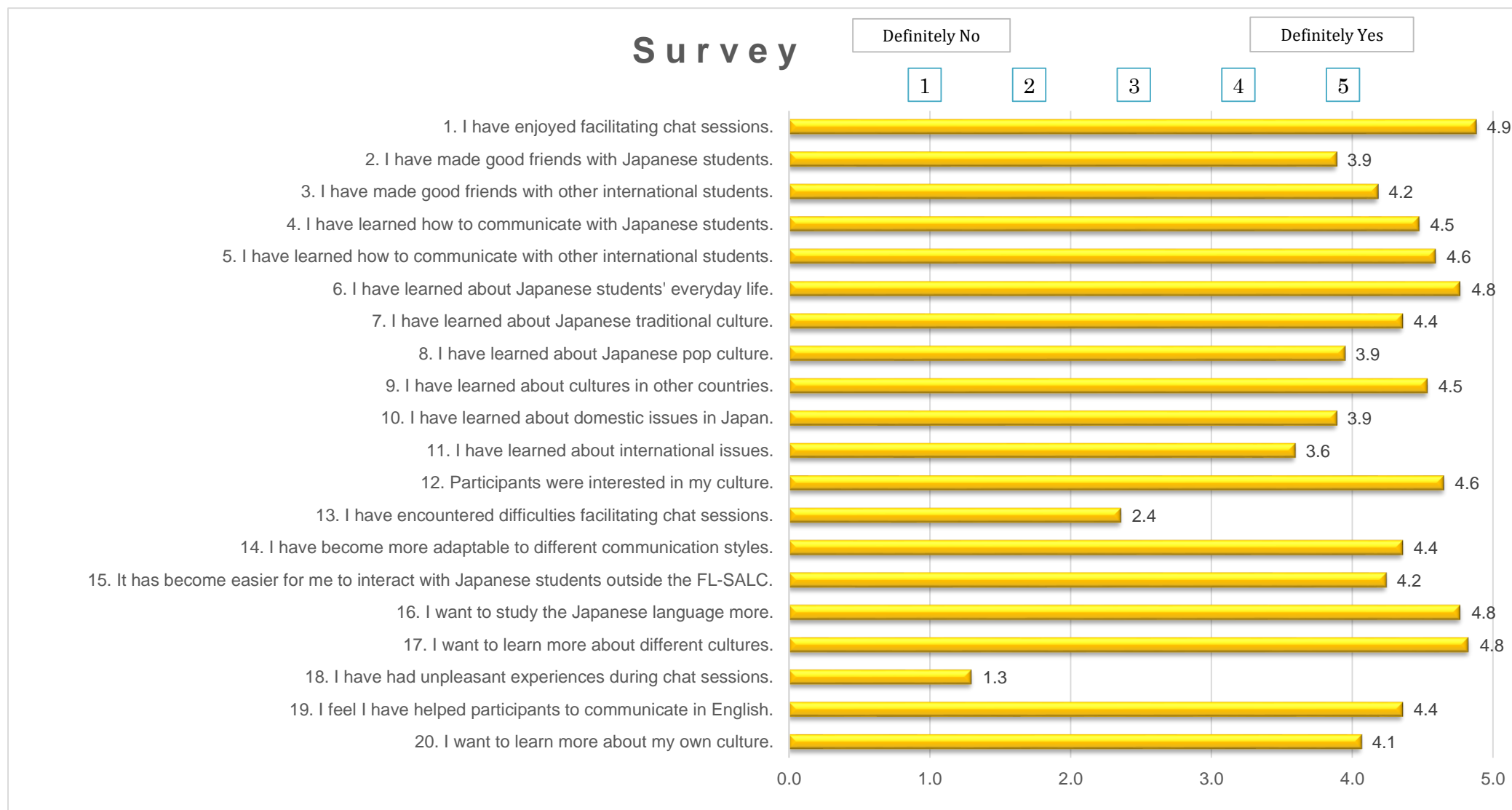
- ・ 人数が多い時にあまり話すことができなかつたこと
- ・ 人数が多くなると色々な人の話が聞ける分、話題に入りづらくなっている人がいるので、何とか留学生だけでなく日本人学生もそのような人に促す流れができれば・・・(11) に続く
- ・ 異文化を学ぶ
- ・ 人見知り
- ・ 私の参加動機が試験対策だけど、ゲームで終わってしまうことがあったこと
- ・ 自分の適正レベルが最初は分かりにくい
- ・ 初めてなのでまだ分からない
- ・ 特になし (20 件)

11. 英語チャットを有意義なものにするアイデアは？

- ・ (10) より続きです、もし話すことより聞くことが目的であったらそういうネームプレートをかけるのもアリ・・・??
- ・ 少数で学べる場所 (テーブル) を増やす
- ・ もっと参加者が多いと
- ・ 英語チャットだけに頼るのではなく、自分でリスニングや単語を勉強すること (できたら毎日)
- ・ Level 3 は政治系のトピックに限らないでほしい
- ・ よく練習する
- ・ 午後の部も毎日行う
- ・ アルコール
- ・ 特になし (33 件)

III. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

(2020年1月実施、17名全員回答、自由記述は原文のまま)



質問（自由記述）：

- (a) What were your reasons for applying for the English Language Tutor position?
- (b) How has the experience as an English Language Tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English Language Tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do you have any suggestions?

英語チューター1

- (a) I wanted to take the chance to interact with Japanese students from my university and experience something new.
- (b) It has helped me to develop the skill to talk with students that are new at English, and taught me new questions I can use in social conversations to get to know someone from another culture. I have realised that there are still some common points we can talk about even when we're from different countries.
- (c) The quiet silences or shyness, however the question sheets helped me talk and think of what to say.
- (d) I would suggest the placement of students who are the same level is important. Students who are potentially in the wrong level should feel comfortable to move during the session to a higher or lower level. This is important as it may be harder for the rest of the group. Maybe tutors can help guide them as well. This would make the whole chat go smoother.

英語チューター2

- (a) I applied for the work as an English Tutor because I wanted to get in touch with Japanese students who are able to speak English with me. Further, it is a good opportunity to talk with Japanese about their culture and daily life so I could get a good impression of Japanese culture and attitudes.
- (b) It helped me to get in touch with more Japanese students as I mentioned before. The English chat is a good opportunity to ask everything about Japanese culture I want to know. Additionally, I improved my English, too, by learning some new vocabulary.
- (c) Some lessons it was hard to find a topic. And sometimes I don't like that I have to lead the conversation. I would prefer to have a free talk in which everybody participated without being asked, so the students learn how to ask questions, too. But maybe I just didn't put enough effort into getting the students into a free talk.
- (d) I want to suggest to hold the chat reflection monthly instead of weekly. And to include the participants into these reflections. For me it makes more sense to reflect the English chat during a long term so that the Tutors can take their time to think how to improve their chat and have time to ask their participants about it. From week to week usually doesn't change that much, so the Tutors might not reflect their sessions that carefully after the first reflections passed.

英語チューター3

- (a) Out of curiosity, I wanted to help as an English learner, and the job seems interesting. And personally, I love English through years of study, I just want to try to enjoy speaking it.
- (b) Definitely helped a lot. These months meant quite a lot to me; it was a precious experience in my study. Because of the chat, did quite a lot of preparations and talking, in written and oral forms both.
- (c) I guess it's that we sometimes didn't so many students interested in the chat, or maybe it's because I didn't join other tutors' chat. But it is always happy to see participants come no matter whether they are really good at it. When participants that are not so talkative came, to be honest it sometimes could be a challenge.
- (d) Maybe broadening the publicity more is a good and important idea, like through faculties, student unions, and English classes. Meanwhile let people know we are casual and relaxed for real.

英語チューター4

- (a) I want to keep my English brushed up all the time and I want to make new friends too.
- (b) It was great! Sometime it was hard to make up some conversation but I just get used to it by time.
- (c) When the participants came more than 5 people. Not only in English chat but in any conversation it was hard for me if the group I talk with have more than 5 people.
- (d) Participants seems to think that level 3 is very hard, so everyone just stay on level 2... I have no idea how to fix this but just to let you know.

英語チューター5

- (a) As I am not an English native speaker, I would like to learn and practice English language more As well as to learn and to know more about how Japanese students learn and improve their English language from chatting and also observing. Besides, it was a good opportunity to learn from Each other not only English for communication but also cultures and personalities, etc.
- (b) I had never done this activity before. Most of the time I was a participants (even at my home university). As a tutor, I had to prepare some games or topics for the participants as well as to plan about what should be held during English chat, to critically think about what to do with different background and English knowledge each individual has had. As a result, it made me become more responsible on the duty as well. Most of all I have met and have made good friendship with some of them even it was a short time.
- (c) There was nothing to be bored. There were only those cold windy days that made all of us wanted to sleep during the chat.
- (d) For now, I do not know if it is too much or not. Normally, there were topics guideline provided each week, how about finding or preparing those topic as essays then after session ends give a short easy essay for participants to read and summarize or give their opinions on topic written in essay for the next week of English chat. Most of all, what we had done and what had been

provided were all good for participants to enjoy the chat. Participants are important actors as well for English chat, therefore, asking for their opinions, what do they like or what would they like to do or want to experience and so on. That could be helpful.

英語チューター6

- (a) n/a
- (b) Helped in working as TA for English class.
- (c) Nothing in particular.
- (d) Nothing in particular.

英語チューター7

- (a) I applied to the English Language Tutor position for 3 reasons:
 - I wanted to talk to Japanese students in English since I don't speak Japanese,
 - I wanted to improve my English since it's not my native language and,
 - I wanted to share what I know about my country's culture and also learn from others.
- (b) It helped me to understand a little bit better Japanese students and how to talk to them, even when they don't really speak English and when I don't speak Japanese.
- (c) I had hard times sometimes to find subjects to talk about, mostly with Level 1 groups. I needed to find quickly something to talk about and that was frustrating and also tiring sometimes but not something I can't handle.
- (d) I think, instead of some "weekly topics" it would be a good idea to give some games suggestions in English, mostly to improve the students' English vocabulary.

英語チューター8

- (a) I had the time and I thought that I would be able to meet some Japanese people and learn from Japanese people what Japanese culture is like. Which did happen, so that was nice.
- (b) I learned that I as a native sometimes don't speak that clearly and need to be more intentional when speaking with people who are not yet skilled enough to understand overly colloquial speech.
- (c) Sometimes certain students were not as naturally willing to speak. I wish that I knew better ways to get them involved in the discussion.
- (d) A clock for the afternoon sessions. I personally feel rude when I look at my phone among other people. I think it would also be better for the participants to see when we are done so it's not suddenly over and there was still something that they wanted to say.

英語チューター9

- (a) really wanted to talk more with Japanese, this kind of opportunities are very little so it was a real pleasure for me to talk with them and play with them and having many sorts of discussions about interesting topics.
- (b) During international party it was easier for me to go talk to Japanese people that I already had in Flsac.

Thanks to that I could talk to them again and spend time with them again out of the university.

- (c) There is nothing that I really do not enjoy. But I can not lie that sometimes it was hard to talk with people from level 1 but I consider that as a part of the job, so I can not complain about it !
- (d) I really do not have any suggestion, having game is a really good idea I think and helped a lot specially for group 1!

英語チューター10

- (a) I saw the English tutor position as an opportunity to interact with other students, make friends and practice my speaking skills. I also wanted to learn about other people's cultures.
- (b) I have made more friends. Sharing my daily experiences with others helps me feel at home. I have learnt a lot about other cultures. The more I learn about other cultures the more I also learn about my own culture.
- (c) Nothing in particular.
- (d) I think we the tutors should try to advertise more so that more students can attend.

英語チューター11

- (a) To help Japanese student improve their English language skills
- (b) I got to know more students and Japan's culture.
- (c) Sometimes I run out of topics.
- (d) I would like to focus more on level 1 students.

英語チューター12

- (a) I applied for this position so I could have an opportunity to both talk to students from other countries and different backgrounds and also because I wanted to try and help others learn another language as I myself am also learning a new language.
- (b) It has helped me to become more comfortable with meeting new people and striking conversations with new people, which I am grateful for.
- (c) The one thing that wasn't my favorite was that sometimes with the level 1 chats it was hard to try and ask questions in simple enough terms for the participants to understand me fully. I didn't have this problem in level 2 chats however.
- (d) I really think that the sheet questions are quite useful for dialogue in level 1 chats, and I think the questions were in depth enough to also be used for level 2. Besides that I think the chats run quite smoothly.

英語チューター13

- (a) An opportunity to meet new people, and to let people know more about my country & culture.
- (b) It has helped me to be patient and read the atmosphere of not only the chats session but also with other situations.
- (c) Nothing in particular, but I do wish that the levels are more separated but that is quite difficult to judge.

(d) Not really. I do think it's pretty okay.

英語チューター14

- (a) To be able to talk more with Japanese students. I have also considered a possible potential of English teaching in the future so I wanted to try out English chat to get a feel for it.
- (b) I think that overall it has helped me communicate with people better in general. I have also learnt a lot about different aspects of Japanese culture and every day life here in Japan. I feel that I have gained a broader worldview from the cultural exchange conversations that I experienced in English chat.
- (c) There has not been any part of English chat that I did not enjoy. It was all enjoyable!
- (d) No, I think that everything is good the way it is at the moment.

英語チューター15

- (a) I have learned English about thirteen years and English just like a powerful tool I can use in International communication. I still don't have the chance like this I can talk to others in English every week, and I have got some pay I think it's a good thing and then I did it.
- (b) In the past, when I talk to Japanese students I just don't know what can I say, but after this session's talking I have more topics when I talking to Japanese students.
- (c) To me everything in English chat is ok. I like it very much.
- (d) I think if we have a definitely and common topic in the same day and told us in weekend, we can make better.

英語チューター16

- (a) My purpose was to learn Japanese culture and making more Japanese friend in meantime helping someone to speak English. Unfortunately, I could not enough help to Japanese student due to short time.
- (b) Although I had a short term in this English Language Tutor, I have learned more Japanese culture.
- (c) Actually, there was nothing which was made me unpleasant. I enjoyed all session of English tutor.
- (d) Due to short time, I don't have any suggestion. As I joined short time, I didn't catch any gap in this program for improvement.

英語チューター17

- (a) I felt that I have to get more involved socially and applying as a tutor can help with that.
- (b) I can make new friends and at the same time help others including myself gain confidence communicating in English.
- (c) The beginners' chat was quite difficult as the participants sometimes don't talk as much and getting them to talk was exhausting. But after a while they opened up and seeing them talk confidently after a few sessions was very satisfying and a proud moment for me.

(d) As in now, everything seems to work out smoothly.

教育・学生支援機構コモニテラシーセンター ハドリー浩美
学務部教務課 (FL-SALC アシスタント) 江部早苗